



代表取締役会長兼社長執行役員

久保 允誉

第23期 中間報告書

2023年4月1日～2023年9月30日

株式会社エディオン（証券コード：2730）

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、この度「第23期 中間報告書」を作成いたしましたので、ご高覧くださいますようお願い申し上げます。

2023年度上期の業績について

2023年度上期における我が国経済は、長引くロシア・ウクライナ情勢や、原材料・エネルギー価格の高止まりによる物価上昇と再び円安基調が強まる中で、依然として先行き不透明な状況が続いております。

しかしながら、2023年5月から新型コロナウイルス感染症の「5類感染症」への移行に伴い、経済活動の正常化と消費の回復が緩やかに進んでおります。このような状況のもと、当企業グループにおきましては、経営資源の適切な再配分と企業価値の向上を目指し、グループ再編を推し進めております。

2022年10月に情報システムの運営及び開発を担う（株）エヌワーク（現（株）EDIONクロスベンチャーズ）が（株）Hampsteadを吸収合併したことに続き、2023年10月に物流・配送サービスを行う（株）ジェイトップが（株）e-ロジを吸収合併いたしました。これにより、高まるEC需要を背景に、全国レベルでの当社のサービス提供が出来るよう全国物流網の構築に取り組んでまいります。

商品別につきましては、テレビなどの映像家電やパソコンなどの情報家電は、新型コロナウイルス感染症の「5類感染症」への移行に伴い外向き消費が増加した影響を受け低調に推移いたしました。平均気温が気象庁の統計開始以降最も高い夏となるなどの記録的な猛暑によりエアコンなどの季節家電が大きく伸長いたしました。また、理美容・健康器具やゲームソフト・玩具、携帯電話なども前年を上回る事が出来ました。

店舗展開につきましては、家電直営店として「なるぱーく鳴海店」、「イオン守山店」、「100満ポルト坂井春江店」、「ホームズ南津守店」の4店舗を新設、5店舗を移転、2店舗を閉鎖いたしました。非家電直営店としては2店舗を閉鎖いたしました。また、フランチャイズ店舗は1店舗の純増加となりました。これにより当第2四半期連結会計期間末の店舗数はフランチャイズ店舗 759店舗を含めて 1,209店舗となりました。

以上の結果、売上高は3,525億77百万円（前年比100.4%）と増加いたしました。また、営業利益は107億79百万円（前年比104.3%）、経常利益は110億52百万円（前年比108.7%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は72億16百万円（前年比102.1%）とそれぞれ増加しております。

2023年度の見通しについて

依然として、世界情勢の影響による原材料・エネルギー価格高騰での物価上昇や円安基調の影響などが続く中で、下期においては、省エネを意識した冷蔵庫・洗濯機などの付加価値商品の販売やプライベート商品[e angle（イーアングル）] 開発強化による商品ラインナップを拡充するとともに、引き続きインバウンド需要への販売体制を強化するほか、お客様や市場ニーズにあわせた商品やサービスの開発及び販売に積極的に取り組んでまいります。

その他、当社の強みを活かしたエアコン、キッチン・水回りなどのクリーニングサービスや冷蔵庫、洗濯機などの「おそうじ・点検サービス」など家電トータルサポートの取り組み強化にあわせて、本年10月より大型商品などの訪問修理などの受付窓口を全店統一したことで、利便性向上によるお客様満足度のさらなる向上を図ってまいります。

出店につきましては、関東圏への当社初の旗艦店として出店する「横浜西口本店」を筆頭に、新規出店5店舗を予定しており、年間では上期の4店舗とあわせて9店舗の新規出店を予定しております。

通期の業績予想としては、売上高7,450億円（前期比103.4%）、営業利益195億円（前期比101.6%）、経常利益195億円（前期比101.3%）、親会社株主に帰属する当期純利益115億円（前期比100.9%）を見込んでおります。

今後もお客様の生活が便利で豊かになるようサポートを行い、売上・利益の拡大とあわせてコンプライアンスの徹底を図るとともに、人的資本・サステナビリティ経営を強化し、社会課題の解決とあわせて、事業の持続的な成長と企業価値の向上に取り組んでまいります。

TOPICS 5 サステナビリティ方針の制定

当企業グループでは、これまでも環境問題や社会課題の解決に取り組んでまいりましたが、企業を取り巻く環境が大きく変化したことに伴い、社会課題の解決による持続可能な社会の実現と持続的な企業価値向上の両立を図るため、サステナビリティ方針を制定いたしました。

エディオングループのサステナビリティ方針

エディオングループは「お客様の豊かな暮らしを持続的に支える企業」でありたいと考えています。経営理念・倫理綱領に基づく事業活動を通じて、すべてのステークホルダーとの対話を尊重し、持続可能な社会の実現に貢献するとともに、自社の持続的な成長と企業価値の向上を目指します。

1. 社会課題の解決と地域社会への貢献

事業活動を通じて社会課題の解決に取り組むとともに、地域社会との協調・交流を図り、地域の活性化や豊かな生活環境づくりに積極的な役割を果たします。

2. 環境問題への取り組み

環境負荷の低減を重要な課題の一つとして認識し、自然環境や生物多様性の保全とともに循環型社会や脱炭素社会の実現に向けて取り組むことで、豊かで潤いのある社会環境の創造を目指します。

3. 人権の尊重

性別や国籍など個人の属性に関係なく、すべてのステークホルダーの人権を尊重し、すべての人々の尊厳が守られる社会の実現に向けて、事業活動の人権への影響やリスクに適切に対応し、人権侵害の未然防止に努めます。

4. 人材育成

新たな価値創出の源泉として重要な経営資源である人材の多様性を尊重し、一人ひとりがやりがいを持って心身ともに安全・健康に働ける環境整備を行い、従業員の公平公正な処遇と能力開発に努めます。

5. 法令遵守及び公正な取引

あらゆる法令や社会規範を遵守し、取引先とも連携し社会に対して責任ある調達活動に取り組むなど、サプライチェーン全体においても公正な事業活動を行います。

6. 情報開示

ステークホルダーとの対話と連携を通じて強固な信頼関係を構築し、公正かつ透明性の高い経営を行い、積極的な情報開示に努めます。

2023年5月24日制定

当企業グループにおける「サステナビリティ」の取り組みに関しては当社ウェブサイトをご参照ください。 <https://www.edion.co.jp/Sustainability>

株主優待 当社では多くの皆様に株主となっていただきたく、「株主優待制度」を設け、エディオングループでのお買い物にご利用いただける株主様ご優待ギフトカードを贈呈しております。



株主優待制度 概要		所有株数	優待金額	長期保有加算
対象者	毎年3月31日現在の株主名簿に登録された、1単元(100株)以上ご所有の株主様 ※長期保有の対象となる株主様は、同一株主番号で2回、3月31日現在の株主名簿に登録された1単元(100株)以上ご所有の株主様	100～499株	ギフトカード 3,000円分	1,000円分
		500～999株	ギフトカード 10,000円分	
有効期限	2024年6月30日まで(1年間)	1,000～1,999株	ギフトカード 15,000円分	2,000円分
		2,000～4,999株	ギフトカード 20,000円分	
		5,000～9,999株	ギフトカード 25,000円分	
ご利用可能店舗	エディオン、100満ポルトの店舗(フランチャイズ店舗を含む)、エディオンネットショップ (https://www.edion.com)	10,000株以上	ギフトカード 50,000円分	

株主様ご優待ギフトカードは、6月中旬頃発送予定の株主総会招集通知のご案内に同封してお届けいたします。

● 1株当たり配当額と配当性向

	(単位：円 銭)				
	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
中間配当	18.00	20.00	22.00	22.00	22.00
期末配当	16.00	26.00	22.00	22.00	(予想) 22.00
年間配当	34.00	46.00	44.00	44.00	(予想) 44.00
配当性向(連結)	33.6%	29.6%	35.1%	39.2%	(予想) 37.7%

● 会社概況 (2023年9月30日現在)

会社名	株式会社エディオン	本店所在地	広島市中区紙屋町二丁目1番18号
事業内容	家庭電化商品等の販売	本社事務所	大阪市北区中之島二丁目3番33号
設立日	2002年3月29日	上場取引所	東京証券取引所 プライム市場
資本金	119億40百万円	正社員数	8,163名(単体)、9,407名(連結)

● 主な子会社・関連会社 (2023年10月1日現在)

株式会社サンキュー	【家庭電化商品等の販売】
フォーレスト株式会社	【文具・事務用品、オフィス用品、日用品等の通信販売】
フォーレスト酒販株式会社	【酒類等の販売】
株式会社EDIONクロスベンチャーズ	【情報システムの運営及び開発】
株式会社エディオンハウスシステム	【住宅リフォーム、太陽光発電システムの販売・工事等】
株式会社ジェイトップ	【一般貨物運送業、家電配送・設置事業、電気工事事業等】
株式会社イー・アール・ジャパン	【リユース事業及びリサイクル事業】
株式会社プライムステーション	【企画・印刷事業】
夢見る株式会社	【プログラミング教室等の運営】
株式会社EdBank	【プログラミング教室等の運営】
株式会社サンフレッチェ広島	【プロサッカーチーム】

● 株主メモ

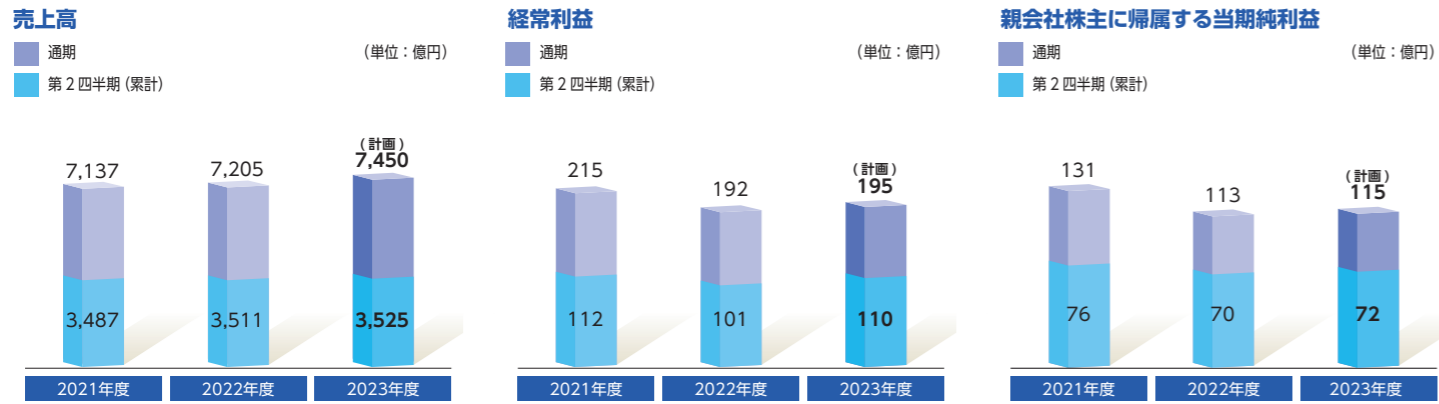
決算日	毎年3月31日
株主名簿管理人/ 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
株式に関する お問い合わせ先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 大阪府中央区伏見町三丁目6番3号 電話番号：0120-094-777(通話料無料) https://www.tr.mufg.jp/daikou/
ホームページ	

● 取締役・監査役 (2023年9月30日現在)

■ 取締役	
代表取締役会長兼社長執行役員	久保 允誉
取締役副社長執行役員	山崎 徳雄
取締役副社長執行役員	金子 悟士
取締役専務執行役員	高橋 浩三
取締役専務執行役員	浄弘 晴義
取締役上席執行役員	石田 垂紀
社外取締役	石橋 省三
社外取締役	高木 施文
社外取締役	眞弓 奈穂子
社外取締役	福島 淑彦
社外取締役	森 忠嗣
社外取締役	坂井 義清
■ 監査役	
常勤監査役	山田 富士雄
社外監査役	福田 有希
社外監査役	沖中 隆志



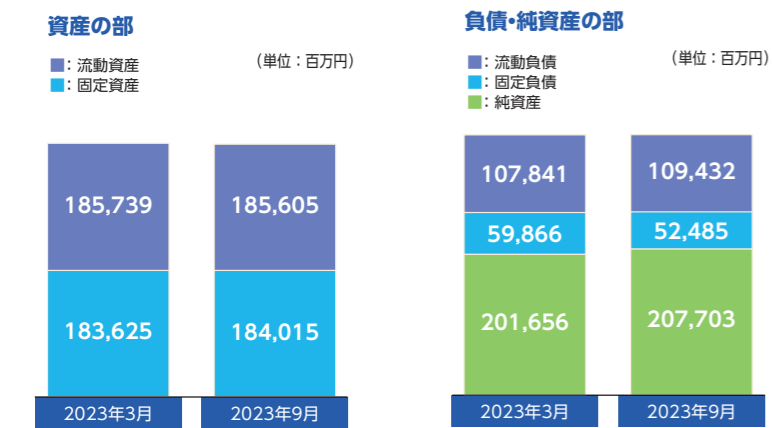
●財務ハイライト



●連結損益計算書

	2022年度上期	売上高比	2023年度上期	売上高比	前年比
売上高	351,115	100.0%	352,577	100.0%	100.4%
売上総利益	106,754	30.4%	106,544	30.2%	99.8%
販売費及び一般管理費	96,421	27.5%	95,765	27.2%	99.3%
営業利益	10,333	2.9%	10,779	3.1%	104.3%
経常利益	10,169	2.9%	11,052	3.1%	108.7%
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,070	2.0%	7,216	2.0%	102.1%

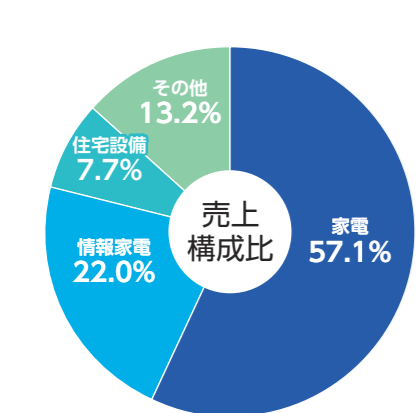
●連結貸借対照表



●連結キャッシュ・フロー計算書

	2023年度上期
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,668
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,131
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,447
現金及び現金同等物の増減額	4,089
現金及び現金同等物の期首残高	13,235
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,325

●商品別概況 2023年4月～2023年9月



主要商品状況

商品名	2022年度上期	2023年度上期	前年比
テレビ	25,012	22,899	91.6%
冷蔵庫	30,386	30,218	99.5%
洗濯機・クリーナー	36,852	36,786	99.8%
エアコン	52,255	54,684	104.7%
パソコン	18,664	16,397	87.9%
携帯電話	31,319	34,834	111.2%
住宅設備	27,621	27,202	98.5%

TOPICS 1 出店状況

新規出店店舗数 **10店舗** (直営店: 4店舗, フランチャイズ店: 6店舗)
 総店舗数 (2023年9月30日現在) **1,209店舗** (直営店: 450店舗, フランチャイズ店: 759店舗)

出店店舗 (家電直営店) 2023年4月～2023年9月

出店月	区分	店名	所在地
4月	移転	人吉レックス店	熊本県人吉市
4月	新設	なるばーく鳴海店	名古屋市緑区
4月	移転	ピバシティ彦根店	滋賀県彦根市
4月	移転	ららぽーと甲子園店	兵庫県西宮市
4月	新設	イオン山守店	名古屋市守山区

出店月	区分	店名	所在地
5月	移転	児島店	岡山県倉敷市
8月	新設	100満ポルト坂井春江店	福井県坂井市
9月	新設	ホームズ南津守店	大阪市西成区
9月	移転	岐阜正木店	岐阜県岐阜市

TOPICS 2 店舗ピックアップ エディオン横浜西口本店

2023年12月15日(金)に複合商業施設「CeeU Yokohama」の2階から7階に当社最大級の「エディオン横浜西口本店」をオープンいたします。



店舗のコンセプトは、「ワクワクを、買いに行こう。-買い物ゴコロを刺激する、家電と遊びの新体験!-」安くて、ポイントもついて、保証期間も長い。私たちが大切にするのは、それだけではありません。欲しかったものを買いに行く喜びや、そこで出会って欲しくなる高揚感。ワクワクが生まれるモノ・コトすべてが、買い物の醍醐味だからです。家電は勿論、ゲームやおもちゃ、最新のデジタル体験に美容や健康、リフォームを通じた暮らしの新提案から、ECと連携した新しい買い方など、あなたの欲しいを刺激する、新たな出会いや体験を創りだす、エディオン横浜西口本店には是非ご期待ください。

TOPICS 3 スポーツ部の活躍

女子陸上競技部では、2023年8月にハンガリー・ブダペストで開催された「第19回世界陸上競技選手権大会」において、女子陸上競技部の藤井菜々子選手が日本代表として女子20km競歩に出場しました。世界陸上への出場は、2019年ドーハ大会、2022年オレゴン大会に続き、3大会連続の出場となりました。また9月に中国・杭州で開催された「第19回アジア競技大会」では、女子20km競歩で見事3位入賞を果たしました。

アーチェリー部では、5月に中国・上海で開催された「2023ワールドカップ・第2戦(上海大会)」において、河田悠希選手が、リカーブ男子団体で3位入賞の成績をおさめました。



女子陸上競技部 / 藤井菜々子選手 | アーチェリー部 / 河田悠希選手

TOPICS 4 ピックアップニュース

2023年6月にサンフレッチェ広島の新スタジアムとなる新サッカースタジアムの命名権契約締結式が広島市役所にて行われ、命名権名称「エディオンピースウイング広島 (EDION PEACE WING HIROSHIMA)」が発表されました。

当社は、スポーツを通じた地域社会への貢献活動にも注力しており、サンフレッチェ広島の設立時よりスポンサーとしてその発展に協力するとともに、1997年からは経営にも携わりながらその活動を支援してまいりました。

そのような中、本年9月に株式会社サンフレッチェ広島を第三者割当増資引受により連結子会社とし、当社としてこれまで以上に地域企業やファンの皆様とともに、クラブの成長とより地域の発展を目指し、経営の面からもサポートしていきます。



2024年に開業予定の新サッカースタジアム「エディオンピースウイング広島」のイメージパース ©City of Hiroshima



サンフレッチェ広島レジーナ ユニフォーム

当社子会社のフォーレスト株式会社は、オフィス用品通販サイト Forestway、個人向け通販サイト「ココデカウ」の運営などをおこなっている総合通販企業で、設立当初より女性が多く在籍し、その活躍により支えられてきました。同じく女性が活躍するサンフレッチェ広島レジーナの理念に賛同し、この度「サンフレッチェ広島レジーナ」の2023-2024シーズンユニフォームパートナー契約を本年7月に締結しました。